



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

トムソン・ロイターのファイナンシャル・リスク部門の名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい
投信 なるほど
リップパー

投信の税金を正しく知ろう④

非課税のNISAって、なニーサ

投資をしていなくても「ニーサ」という言葉を聞いたことがあるという人は多いでしょう。今回は「少額投資非課税制度(NISA)」の解説です。NISAは2024年から変わる予定。改正の内容は次回に説明します。

投信の場合、NISAの対象は株式投信です。以前お伝

えたように、実際は株式運用でない投信でも、債券の値動きや外国債券の為替変動など、元本割れリスクがあれば株式投信として扱われますのでNISAが使えます。

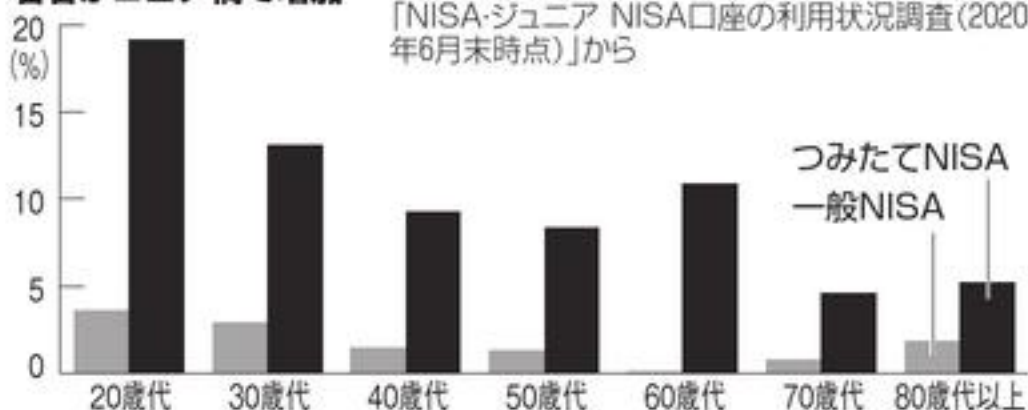
現在のNISAは三種類です=表。その年の1月1日現在で20歳以上の人は、「一般NISA」か「つみたてNISA」か「つみたてNISA」か「つみたてNISA」

■現在のNISAは3タイプ(2023年末まで)

	一般NISA	つみたてNISA	ジュニアNISA
対象者	日本に住む成人		日本に住む未成年者
対象金融商品	上場株式、株式投信等	長期・積立・分散投資に適した要件を満たす株式投信	上場株式、株式投信等
元本上限	年間120万円	年間40万円	年間80万円
非課税期間	5年間 (ロールオーバー可能)	20年間	5年間 (ロールオーバー可能)
制度終了	現行制度は2023年12月末まで。2024年から内容が大幅改定	2042年12月末まで制度延長	2023年12月末(期間終了後も20歳までは非課税で継続保有可能)
その他	一般NISAとつみたてNISAはどちらか一方の選択		現行では、3月31日時点で18歳になる前年の12月31日までは払い出しが制限される。制度終了に伴い、24年1月以降は払い出し可能

つみたてNISAを始める若者がコロナ禍で増加

2020年6月末までの一般NISAとつみたてNISAの口座数の増加率(同年3月末と比較)金融庁「NISA・ジュニアNISA口座の利用状況調査(2020年6月末時点)」から



SA」を利用できます。「一般NISA」は、上場株式や上場投資信託(ETF)、上場不動産投資信託(REIT)も対象です。

「つみたてNISA」は、手数料が低水準、分配金の支払いが頻繁でないなど金融庁が定めた要件を満たす株式投信やETFに限られています。対象銘柄は、金融庁のホームページに掲載されています。購入は定期的な積み立てのみ。長期投資に向いているので、若者の利用が増えています=グラフ。

20歳未満の人が対象の「ジュニアNISA」は、23年末で終了です。その後は新規投

資ができませんが、それまでのジュニアNISAの投資分は20歳まで非課税で持ち続けられます。

「一般NISA」と23年末までの「ジュニアNISA」は、5年以内に売却しない場合、「ロールオーバー」の手続きで次の5年間も非課税にできます。NISAの枠はその年限り。余った枠は翌年以降に繰り越せません。また換金して年間の非課税枠が空いても、その年内に枠の再利用はできません。

「投信の税金を正しく知ろう⑥完」は12月25日に掲載します。